

【メマンチン塩酸塩 0D錠 15mg 「ケミファ」】  
安定性に関する資料

日本ケミファ株式会社

● 目的

メマンチン塩酸塩 OD錠 15mg「ケミファ」の市場流通下における安定性を確認するため、加速試験を実施した。

● 保存条件

温 度：40±2℃

湿 度：75±5%RH

包装形態：①PTP包装（アルミピロー、乾燥剤入り）

②バラ包装（ポリエチレン瓶、乾燥剤入り）

保存期間：6ヵ月間

● 試験項目

性状、確認試験、製剤均一性（含量均一性試験）、崩壊性、溶出性、定量法、純度試験（類縁物質）

● 結果

① PTP 包装

試験項目	規格	開始時	1 ヶ月	3 ヶ月	6 ヶ月	
性状	白色～微黄白色の素錠	白色の素錠				
確認試験 (赤外吸収スペクトル測定法 : $\text{cm}^{-1}$ )	以下の波数付近に吸収を認める 3342 $\text{cm}^{-1}$ 、3269 $\text{cm}^{-1}$ 、 3170 $\text{cm}^{-1}$ 、2900 $\text{cm}^{-1}$ 、 1595 $\text{cm}^{-1}$ 、1454 $\text{cm}^{-1}$ 、 1353 $\text{cm}^{-1}$ 、1198 $\text{cm}^{-1}$ 、 837 $\text{cm}^{-1}$	適合				
製剤均一性 (判定値 : %)	判定値が 15.0% 以下	1.4～4.6	—	—	1.6～5.1	
崩壊性 (崩壊時間 : 秒)	2 分以内に崩壊する	11～14	11～13	11～13	11～12	
溶出性 (溶出率 : %)	15 分間の溶出率が 85% 以上	97～104	95～104	96～105	99～104	
定量法 (含量 : %)	95.0～105.0%	99.8～103.4	97.8～103.7	99.0～101.9	99.2～101.6	
純度試験 (類縁物質含有量* : %)	参考値	類縁物質 A (%)	N.D.			
		類縁物質 B (%)	N.D.			
		類縁物質 C (%)	N.D.			
		類縁物質 D (%)	N.D.			
		類縁物質 E (%)	N.D.			
		DMMT (%)	0.03	0.02～0.03	0.03	0.03
		MMMT (%)	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
		その他最大類縁物質 (%)	0.01	0.01～0.02	0.01～0.02	0.01
		類縁物質の合計 (%)	0.04～0.05	0.03～0.06	0.03～0.05	0.03～0.05

※標準溶液のメマンチンのピーク面積を 1% として算出。

表中の数値は、最小値～最大値を表す。 N.D. : 定量限界未満

DMMT : 1-Amino-3-methyladamantane hydrochloride

MMMT : 1-Amino-3,5,7-trimethyladamantane hydrochloride

② バラ包装

試験項目	規格	開始時	1 ヶ月	3 ヶ月	6 ヶ月	
性状	白色～微黄白色の素錠	白色の素錠				
確認試験 (赤外吸収スペクトル測定法： $\text{cm}^{-1}$ )	以下の波数付近に吸収を認める 3342 $\text{cm}^{-1}$ 、3269 $\text{cm}^{-1}$ 、 3170 $\text{cm}^{-1}$ 、2900 $\text{cm}^{-1}$ 、 1595 $\text{cm}^{-1}$ 、1454 $\text{cm}^{-1}$ 、 1353 $\text{cm}^{-1}$ 、1198 $\text{cm}^{-1}$ 、 837 $\text{cm}^{-1}$	適合				
製剤均一性 (判定値：%)	判定値が 15.0%以下	1.4～4.6	—	—	1.1～4.9	
崩壊性 (崩壊時間：秒)	2 分以内に崩壊する	11～14	11～13	11～13	11～12	
溶出性 (溶出率：%)	15 分間の溶出率が 85%以上	97～104	97～105	95～105	99～105	
定量法 (含量：%)	95.0～105.0%	99.8～103.4	98.4～103.2	98.2～102.5	98.9～102.2	
純度試験 (類縁物質含有量*：%)	参考値	類縁物質 A (%)	N.D.			
		類縁物質 B (%)	N.D.			
		類縁物質 C (%)	N.D.			
		類縁物質 D (%)	N.D.			
		類縁物質 E (%)	N.D.			
		DMMT (%)	0.03	0.03	0.03	0.02～0.03
		MMMT (%)	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
		その他最大類縁物質 (%)	0.01	0.01	0.01～0.02	0.01
		類縁物質の合計 (%)	0.04～0.05	0.03～0.06	0.03～0.05	0.03～0.04

※標準溶液のメマンチンのピーク面積を 1%として算出。

表中の数値は、最小値～最大値を表す。 N.D.：定量限界未満

DMMT：1-Amino-3-methyladamantane hydrochloride

MMMT：1-Amino-3,5,7-trimethyladamantane hydrochloride

● 結論

メマンチン塩酸塩 OD 錠 15mg 「ケミファ」は、通常の市場流通下において、3 年間安定であることが推測された。

日本ケミファ株式会社：安定性に関する資料（社内資料）

2021 年 7 月作成